

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスなないろ		
○保護者評価実施期間	2026年1月19日		2026年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	季節や、行事に合わせた活動内容を取り入れております。週で同じ活動を行うこともありますが、繰り返しになるお子様には段階付けを行いお子様の状況に合わせ活動内容の水準を調整しております。また、下校時間などに合わせて、戸外活動に変更するなど臨機応変に活動内容を組み替えております。	引き続き、お子様たちがご満足できる活動をご提供できる様に、職員間でアイデアを出し合い、その中しっかりと療育効果や目的を意識してと取り組んで参ります。
2	定期的に、面談や子育てに関する助言等のご支援を行うことができている。	計画に立案に合わせて、年2回ご面談を実施させて頂いております。また、随時、ご送迎時やメール、お電話にてご相談頂ける体制を整えており、ご希望に沿い定期面談に加え、さらにご面談を実施しております。	今後も、保護者様と信頼関係を築き、いつでもご相談頂ける環境を整えてまいります。また、定期面談に加え、保護者様に寄り添い、いつでもご相談、ご面談を実施できる事を、再度周知していきます。
3	日々の活動概要や行事予定を発信できている。	日々の療育後、レク内容、またその時のお子様のご状況を各保護者様にメールにて写真付きご連絡し、情報共有を行っております。また、月1回発行のお便りにて、ピックアップした活動の狙いや効果をご説明し活動内容の周知に努めています。	今後も日々の活動内容を保護者様へご連絡し、安心感を持ってご利用出来る様取り組んでいきます。また、引き続き、お便り、ブログやインスタを利用しての活動内容の周知を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	まだ、父母会が立ち上がっていないこともふくめ、保護者同士の交流する機会が少なく、物理的な家族を含めた支援の機会が少ないと思われます。	今年度で事業所が開設してから3年目となり、ようやく保護者様やごきょうだい様もご参加対象としたイベントを行う事ができた所です。ですが、まだまだ取り組み始めたばかりであり、お子様の入所時期によっては、交流イベントにご参加できずご満足頂けることができなかったと思われまます。	保護者様のアンケート結果では、夏祭りでご家族の交流ができて楽しかったというご意見も多数頂いております。今年度の取り組みをいかし、職員の負担も考慮しながら、保護者様、ごきょうだい様もご交流頂ける機会の提供を行ってまいります。
2	ご家族様が満足される家族支援プログラムや、ご家族様ご参加できる研修会等の情報提供が少ないことが考えられます。	現在は、ご利用家庭様に全体としてではなく、個別にご相談を受けたご家庭に対しアドバイスを行ったり、お子様との関わり方を一緒に検討しております。そのため、ご相談を下さったご家族様に対してに限定されており、ご利用されている全ご家庭様に向けての家族支援プログラムが不十分だったと思われまます。	今後は現在行っている個別のご相談を、随時ご対応できることをしっかりと周知していきます。また、ご家族もご参加できる研修会等の情報把握をしっかりと行いご家族様への情報提供に努めてまいります。また、今後、事業所が主体となり家族支援プログラムを行える様ご検討していきます。
3	放課後児童クラブ児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ないと思われます。	個人情報の観点から、放課後児童クラブや、地域の他のこどもとの活動を積極的に行うことが難しい背景があります。今年度は、公共施設で活動が重なった際に、交流を持つ場面や、町内の児童福祉関連施設とイベントの際に交流を持つ機会を設けていました。	今後も個人情報の観点を念頭に置きつつ、地域のお子様や、近隣の児童福祉関連施設のお子様と交流が持てる様検討していきます。